

「金融」と「財政」

～ 大学生が自分自身のために考える ～



沖縄総合事務局財務部は、6月22日、琉球大学生(約30名)を対象として、金融トラブル等の防止策や日本の財政の現状と課題等の金融・財政セミナーを開催しました。

(大学生にとっても身近な) 金融について考える

金融の授業では、若者のトラブルの状況について、大学生になると、一人暮らしを始めるなど社会と接点を持つ活動が急速に増加するが、若者は成熟した成人に比べて、知識や社会経験が十分ではないため、トラブルに巻き込まれる可能性が高いことを、具体的な事例を紹介しつつ、説明しました。



▲当部多重債務相談員から
若者のトラブルの状況について説明

また、顔見知り等からの投資等のもうけ話などにおいて、「必ず儲かる」、「絶対に大丈夫」などは、金融の世界においてあり得ないなど、金融トラブル防止策を説明し、次に、資産形成についても説明しました。



▲金融トラブルの現状や防止策の説明

(みんなの将来のために) 財政について考える

財政の授業では、日本の財政の現状として、歳出に必要な財源は、税金による収入(税収)などで賄うことが求められています。が、「社会保障関係費」の大きな伸びによって、「公債金」という借金に依存していることを説明しました。また、少子高齢化や財源の不足といった状況

に対応した社会保障とするため、消費税率引上げによる増収分は全て社会保障に充て、待機児童の解消など子育て世代のためにも充当し、「全世代型」の社会保障に転換していることを説明しました。

事後アンケートでは、「金融トラブルには気をつけようと思った。」「社会保障費の増大に驚いた。」などの声がありました。

当部は、地域の皆様のご要望に応じて、金融や財政について広報していきますので、お気軽にお問合せください。



▲日本の財政の現状について説明

お問合せ先
財務部 財務課(地域連携担当)

☎098-866-0091